

令和8年10月

第661号

のぞましい家庭教育のしおり

刈谷市教育委員会
刈谷市児童生徒愛護会

～絵本を通してお子さんと楽しい時間を～

先日、家の片付けをしていたときに、本棚にある絵本が目にとまりました。この絵本は「くつついた！」の言葉の繰り返しが楽しい0～2歳児向けの絵本です。久しぶりに絵本を手に取り、ページをめくると、金魚、アヒル、ゾウ、サルが、思い思いのやり方で「くつついた！」の動きを繰り返していきます。私は、ページを読み進めていくうちに、「たしか…この絵本、娘が大好きだったな。」と思い出しました。当時、娘は私の隣で、絵本をのぞき込み、「くつついた！」と読むたびに、満面の笑みで喜んでいました。片付けついでではありましたが、ふと、娘が大好きだった絵本を開いてみて、なんだか嬉しい気持ちになりました。

翌日、高校生の娘に『くつついた』の絵本を久しぶりに見せ、「この絵本、覚えている？」と聞いてみました。表紙をじっと見た娘からは「なんとなく。」という返事が返ってきました。私がすかさず「この絵本はね、金魚が出てね、アヒルが出てね、ゾウとかサルも…。」と話をはじめると、娘は「もういい。」と言いついて、自分の部屋に行ってしまいました。私は「昔、読んだ絵本なんて覚えているわけないか。」と少しさみしい思いでいました。すると、しばらくして、娘が部屋から出てきて「たしか、最後は、赤ちゃんをはさんで、お父さんとお母さんもみんな一緒にくつついたお話でしょ。楽しい絵本だったことを覚えているよ。」とはにかみながら伝えに来てくれました。



私は、絵本って、子どもの記憶に残るものなんだなあと思いました。もしかしたら、大きくなってから、娘が自分で手に取り、私の知らないところでこの絵本を読んでいたから記憶が新しいのかもしれませんが、でも、娘の「楽しい絵本だったことを覚えているよ」という言葉が嬉しかったです。読み聞かせを通して、子どもと親は、絵本に描かれている様々なものやストーリーを二人の共通の話題として、気持ちや言葉を交わすのだと思います。そうすることで、子どもは親との情緒的な絆を深めたり、言葉や世の中の様々な知識を効果的に獲得したりするのではないのでしょうか。みなさんも、ぜひ、絵本を通してお子さんと楽しい時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時 ☎052-261-9671